

神戸ビエンナーレ2007開催



アート・イン・コンテナ展 入選作品

「群」 小野養豚ん (小野裕子)

「The Box of Pandas」 周彤+神戸芸術工科大学・大学院

「Constructed Cave No.1」 久富敏明

「camera obscura」 橋本英治、山本忠宏、泉 政文、
川村素代、水戸宏美、大和勇一

「CG Zoo」 志茂浩和

ユニバーサルデザインポスター展

札幌靖明 (ビジュアル3年) …神戸ビエンナーレ大賞

スイーツデザイン展

日比秀一、中川貴洋 (本学卒業生) …グランプリ受賞

特別出展作家

「モバイル プラネタリウム」 山口勝弘 (本学名誉教授)

神戸市中央区のメリケンパークにおいて、去る10月6日(土)から11月25日(日)まで、総合芸術祭「神戸ビエンナーレ2007」が開催されました。

これは、「神戸文化創生都市宣言」を機に神戸の新しい都市イメージの発信として企画されました。

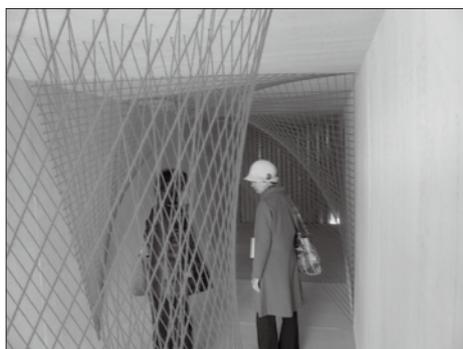
本学でも、大学をあげて協力をすることが確認され、メイン事業である「アート・イン・コンテナ・コンペティション」や、ポスターデザイン、スイーツデザイン展、特別出展など、在学生、卒業生、教職員らが出展しました。

「ビエンナーレ」とはイタリア語で2年に一度という意味を持ち、隔年に開催される美の祭典で、初開催の今回は目標入場者10万人を上回り、約14万人の来場がありました。

「アート・イン・コンテナ」の作品では、デザイン教育研究センターの久富准教授の作品で、コンテナの上下に張り巡らされた毛糸の幾何学模様の作品や、昨年卒業した中国からの留学生、周彤さんのパンダと環境保護を意識付けした作品などが目を引きました。

また、メディア表現学科の志茂准教授のCGZooは特別賞を受賞しました。

現代アート、写真、陶芸、生け花、日本画、洋画、ロボットアートなど多岐にわたる展示で、若い人から年配の方までジャンルを気にせず楽しめるイベントとして盛況のうちに終了しました。



Contents

- 神戸ビエンナーレ開催
- 在学生・卒業生の活動
- 学生フォーラムの活動
- キャリアセンターだより
- 国際交流
- 学生相談室からのメッセージ
- 卒展案内・まなび掲示板

公開特別講義開催 横尾忠則氏を迎えて



兵庫県出身で日本を代表する世界的アーティストの横尾忠則氏を招き、去る10月11日(木)吉武記念ホールにおいて、「生きることとアーティスト」と題した公開特別講義を開催しました。聴講者は平日にも関わらず、一般の方々の参加もあり、500名収容の同ホールが満席となりました。

講演の冒頭、神戸に向かう新幹線で隣に座った人の話から、神戸新聞社に在職していた1959年頃の同社ビルが当時神戸で一番高いビルだったことなど語られ、これらの話から、以前は地域によって、どの地域の人か見分けが付き、今は文化の面で平面化が進み、一人一人の個性が薄れつつあり、その要因や現在の風潮など語られました。

そして、個性化を図るためには、慣例的な美意識を見直す勇気が必要であるとも述べられました。また、劇作家で「天井桟敷」を主催した故寺山修二氏との数々のエピソードや

親交のあった三島由紀夫氏との関係についても紹介されました。

約1時間の講演の後、会場からの質疑応答となり、過去に映画出演をされた同氏に対して「自身が被写体となることについて」、「作品が日本よりも先にアメリカで評価されたのか。また評価をしてくれたアメリカでなく、日本で仕事をしつづける理由」などの質問に対して、丁寧に返答されました。

最後に今回のポスターで使用した、Y字路をテーマにした作品に取組まれたきっかけについて、「以前郷里の西脇市に里帰りし、子どもの頃に通った模型屋の様子を見に行ったら、Y字路の尖ったところにあったその模型屋はすでに取り壊されており、その跡を記念撮影のつもりで写真を撮ったところ、それが何ともいえない雰囲気をもって、これをテーマに絵に描いてみようと思った」と語られた。

在学生デザインの「NEW Uラインカード」好評発売中！

本学ビジュアルデザイン学科1年の太田莉奈さんがデザインした「NEW Uラインカード」が好評発売中です。NEW Uラインカードは、神戸市営地下鉄・市バスで利用することができるプリペイドカードで、合計20万枚が制作され、企業スポンサーのUラインカードの発売がない時期に販売されることとなっており、1,000円、3,000円、5,000円券の3種類が各駅券売機で購入できます。

このNEW Uラインカードは、「おもわず！手に取りたくなる、使いたくなる、手元に置いておきたくなる」をコンセプトにデザインされました。

実際に購入された神戸市民の方から、「美しいデザインに気持ちが明るく元気になりました！」というお礼のハガキが大学に届きました。



卒業生の活躍

パリの2008春夏ファッションウィークで自身のデザインブランドを発表

03年度卒業生の渡邊洋平さん(99F)から、つぎのような報告がありました。

～昨年10月初旬に開催された、パリの2008春夏ファッションウィークにて、ブランド「DORCAS(ドルカ)」のプレタポルテのコレクションがショー・プレゼンテーション形式で発表されました。Showroom 展示会等を終え各国のバイヤー・プレスからの評判もよく、多くの反響を頂く中ブランドのディレクションを手掛けて間もなく4シーズン目を迎えます。現在2月末に控えた2008-09秋冬パリ・コレクションでの新作発表に向け準備を進めています。<http://www.dorcas-paris.com> ～とのこと。

渡邊さんは、学生時代に本学での卒業制作作品が「第29回神戸ファッションコンテスト」において特選に選ばれ、パリのクチュール組合学校へ1年間の留学支援を受けました。

卒業生が国内にとどまらず、広く海外でも活躍している便りをもらうことは大学としてうれしいことでもあります。

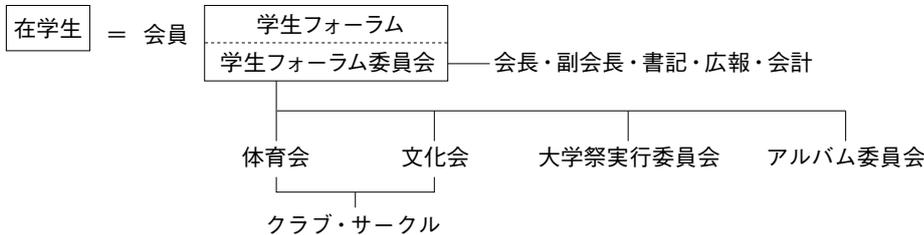
KDUiでは、今後も引き続き、卒業生の活躍を紹介していきます。



学校をよくするために 「学生フォーラム」の活動をお知らせします！

みなさんは、「学生フォーラム委員会」って、知っていますか？ ほとんどの人は「何それ？」とか「サークル？」と思うでしょうが、中学や高校の時にあった、生徒会と同じ性格をもつ組織です。

生徒会は各クラスの学級委員・代表委員が集まって生徒会役員となりますが、芸工大では、学生みなさんの中から「学生フォーラム委員会」のスタッフになってもらって、みんなの要望を大学へ伝えたり、クラブ活動の運営を統括したりしています。



年間の行事として、フォーラム総会、新入生歓迎会、芸遊祭（スポーツ祭）、芸展祭（展示）、芸球祭（球技大会）、芸愛祭（クリーンキャンペーン）などの行事のほか、献血活動、地域で行われる行事に参加。

そのほか、最大のイベントである大学祭（芸工祭）の開催や、卒業する先輩方への思い出づくりとして、卒業記念アルバムの作成、部活動の活動援助や毎月の定例会などを行っています。

そのほかにも次のような活動も行っています。



■EVカーで交通安全協力

平成19年9月29日（土）、神戸西警察署が主催する「3世代による交通安全体感教室」が西区の神戸西インター自動車学校で行われ、本学ソーラーカー部が、西警察署の要請により、同部が所有するEVカー（電気自動車）を使って、子供たちの実車体験の手伝いをしました。教習所内の道路で、実際にEVカーに乗車した小学生は、アクセルを少し踏み込んだだけで加速することや、ハンドル操作などにとまどいながら、自動車を運転する側から見た歩行者の見え方や、スピードの出しすぎの怖さを体験することを体験しました。

■学長との懇談会

去る12月5日（水）、学生フォーラム委員会の代表者と土肥学長、齊木副学長らとの懇談を行いました。懇談のなかでは、大学の施設やカリキュラムに対する要望、タバコのポイ捨てなどのマナーの問題などが話し合われました。



■献血活動に対する感謝状

学生フォーラム委員会が毎年、学内で行う献血活動に対し、日本赤十字社兵庫県支部より、献血功労団体表彰を受けました。

本学での昨年の献血は7月11日（水）に実施され、54名の学生さんの協力を得ました。地道な社会貢献活動を通じて、学園の建学理念である「世に役立つ人物の養成」を実践しています。

■ 求む！ スタッフ ■

学生フォーラム委員会では、学校をよくするため、また、フォーラム行事の運営をしてくれる人を募集しています。学生フォーラム委員会、大学祭実行委員会、アルバム委員会などに興味や関心を持っている人のヘルプを待っています。

希望者は厚生館（食堂）の建物の地下1階C008へ行くか、TEL078-796-2631へ電話してください。

学生フォーラム委員会 会長 増田貴俊



国際交流

■世界遺産・宇治平等院を巡る ～留学生後援会研修交流旅行～



去る11月24日(土)、外国人留学生後援会が主催する研修交流旅行が行われました。本学留学生等22名、留学生のチューター学生2名、後援会会員等(一般の方、教職員)13名の総勢37名が、錦秋の京都、宇治へ向かいました。

バス車内では、自己紹介が行われたり、カードゲームで楽しむうちに、宇治・平等院に到着。10円玉でお馴染みの鳳凰堂を見た留学生は、さかんに写真を取ったり、宝物殿においては、鳳凰堂に描かれている文様を熱心に見入る姿が見られました。

特にアジアからの留学生は、日本の仏教建築や、柱や壁画に施されている模様(デザイン)に関心があるようでした。

午後からは、福寿園宇治工房において、宇治茶づくりの体験をしました。茶葉を自分でもんで、陶板で乾燥させる行程を繰り返し、煎茶にしていく班、碾茶を石臼で挽いてその場でたてる班に分かれました。

普段何気なく飲んでいるお茶が、どのような行程で出来上がっていくかを、目の当たりにし、留学生に限らず、日本人参加者も貴重な体験をすることができました。

参加した留学生は日本文化を見聞することができ、また日本人参加者は日本文化を外国の人に紹介するため、自国文化を再認識できた、よい一日となりました。



■身近な国際交流をしてみませんか? 留学生のチューター制度



チューター反省会の模様

現在、本学の外国人留学生は13カ国54名在籍しており、兵庫県内の国公立大学の中でも出身国の多さでは、神戸大、関西学院大、兵庫県立大について第4位となっています。(兵庫地域留学生交流推進会議調べ:2007年11月現在)さまざまな国・地域から留学生が来日しますが、生活習慣や文化の違いによるとまどいや、大学での学生生活において不安を抱えています。本学では、在学生在が新入留学生の学生生活などをサポートするチューター制度を設けています。

2007年度も11名の留学生がチューターを希望し、授業の取り方のアドバイスを受けたり、バーベキュー、ハロウィンなどの企画を通して留学生と日本人学生の交流が行われてきました。

大学では2008年度も、新入留学生のために、「チューター」を募集します。身近なところで国際交流をしてみたい、自分自身の活動の幅を広げたいという人は、チューターになってみませんか。

チューターの募集は掲示板に掲示します。また詳しいことは、本館2階の教学課まで聞きに来て下さい。



留学生交流会の模様

ひとりで悩みをかかえこまないで!! 学生相談室からのメッセージ

カウンセラー 梅林厚子

皆さんは学生相談室(カウンセリングルーム)を知っていますか?保健室の向かいにある部屋です。「そんな部屋があったの?」「知っているけれど今は悩みがないので利用していない」「相談したいことがあるけれど何だか入りづらい」などいろいろな声があると思います。

特に、「相談したいことがあるのに躊躇している」学生の皆さんには、相談室のことを理解し、新たな一歩を踏み出してもらいたいです。

この部屋では、カウンセラーが皆さんと共に考え、よりよい解決法を一緒に見つけていくところです。説教や命令をされたり、批判や評価をされたりするような場ではありません。そして、何よりも秘密はかたく守られるので安心して話ができます。

人に話を聞いてもらおうと様々な効果があらわれます。主な効果を2つ紹介してみましょう。

*カタルシス効果

胸のうちに溜めていたもの(特にネガティブな感情/むかつく・みじめだ・不安だなど)を吐き出すと心がすっきりしてほっとします。これをカタルシス(浄化)と呼びます。心が掃除された状態になるのです。

*アウェアネス効果

自分に対する洞察が進み、新たな思いが生まれ、今まで気づけなかった新しい自分に出会うことができます。新しい見方ができるようになると、他の人を理解したり、受け入れたりすることができるようになります。

大学時代は人生の中でも一番悩みが生じる時。「学生生活に充実感がない」「自分の性格について考えたい」「対人関係で困っている」「恋愛で悩んでいる」「将来の進路が不安」「クラブやサークル活動で悩んでいる」「何となく体調が悪い」等等、どんなことでもかまいません。

一人で悩まず、学生相談室を気軽に利用しましょう!

学生相談室(本館1階保健室内) 相談日

毎週月曜日13時~16時 梅林 厚子 毎週水曜日10時~16時 村山 満明
毎週金曜日10時~16時 内藤あかね

利用や相談については電話またはeメールで受付ます

078-794-5025(内線3015)
student-counseling@kobe-du.ac.jp

トライやるウィーク 中学生の受け入れ

本学でトライやるウィークの中学生を受入れました。兵庫県では中学2年生が職場体験を通じて豊かな感性と創造性を養うことを目的に実施しています。ちょうど現在の4年生が中学に入学した時に始まりました。

本学では11月5日から9日までの5日間、神戸市立長坂中学校2年生の男子3名が図書館業務を体験しました。

図書の受入れ、配架、貸出、返却などの業務のほかにパソコンでの入力作業、蔵書整理、タートルテープ貼りなどの業務を行い、図書館業務のすべてを体験してもらいました。

最終日の反省会では、「中学校の図書委員の仕事と似ているけど、パソコンを使うことが想像していたより多かった」、「ミスができないので緊張した。でもミスをしてしまった。慎重にやらないといけなかった」、「受付の仕事が楽しかった」などの感想を語ってくれました。彼らが、ここでの経験を通して、社会でのマナーや働くという意義を少しでも吸収してくれたことと思います。



キャリアだより

■「おかえりなさい」～会社説明会レポート～

2007年11～12月に、約10社の企業の方に本学へ来ていただき、説明会を実施しました。その中で、富士重工業(スバル)・スズキ・ホンダ・富士通・キャノンの説明会は、本学卒業の先輩が帰ってきてくれて、説明をしていただきました。

今回はそのうち、スズキとキャノンの説明会をレポートします。

スズキ株式会社 前田先輩(OOP)、井隼先輩(O2P)

スズキ株式会社の説明会には、前田先輩と井隼先輩が帰ってきてくれました。おふたりだけでなく、総勢5名も来ていただき、四輪デザイナー・二輪デザイナー・四輪モデラーと職種別の説明をしていただきました。

また、全体説明終了後も、2時間以上に及ぶ個別指導も実施していただき、学生たちは大満足の様子でした。

最後には前田先輩が「スズキで芸工派閥を作りましょう」、井隼先輩が「皆さんが来るのを待っています」と後輩たちに熱いエールを贈ってくれました。



前田先輩(写真右)



井隼先輩(写真右)

説明会は、学生にとって大変有意義なものになったようで、「ものすごく分かりやすい説明で楽しかった」という内容の感想が多くみられました。

この説明会は、本学のキャリアセンターが目指している「就職活動を楽しむ」というコンセプトに一致する素晴らしいものでした。前田先輩、井隼先輩、来年も宜しくお祈りしますね!!!

キャリアセンター案内

キャリアセンターでは、企業からの求人票の受理・応募者の推薦選考など、全学年対象に就職斡旋にかかわる全ての業務をおこなっています。

場所：本館1F

開室時間：平日9:00～18:00

土曜日9:00～17:00

※キャリアセンターには下記の資料等を備えています。

- ①求人票：企業から送られてきた求人票・会社案内等を企業別にファイルしています。
- ②就職試験報告書：先輩が企業を受験した際の報告書(選考日程・方法等記載)があります。
- ③ポートフォリオ：先輩が作成したポートフォリオがあります。
- ④新聞・雑誌：日本経済新聞、日経産業新聞、日本繊維新聞、日経流通新聞、就職ジャーナルなどがあります。



キャノン株式会社 高生加先輩(89V)：1期生の先輩です！

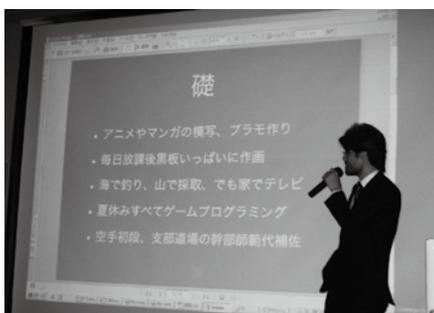
キャノン株式会社の説明会には、高生加(たかおか)先輩が帰ってきてくれました。先輩だけでなく、総計3名も来ていただき、会社概要・デザイン業務について等、丁寧に説明していただきました。

キャノンの説明会では、全体説明1時間半、質疑応答2時間、高生加先輩によるデザイン講座2時間と盛りだくさんの内容でした。

特に先輩のデザイン講座は、6101教室からキャリアセンターに場所を移し、先輩のこれまでの仕事の軌跡等、本学卒業生ならではの話をさせていただきました。また、先輩は後輩たちに「大学では自分の強みを磨くことが大切です(デザインは出来て当たり前。それ以外に自分の強み/個性を持って欲しい)」とアドバイスされ、「私はコンピュータなどテクノロジーに強いことを個性にしている」と語ってくれました。



また、先輩は「今後も継続的にもっと在校生と交流していきたい。第一期卒業生として亡き教授から預かった意志にそろそろ応えていきたい」と言い残して東京に帰られました。高生加先輩、今後ともよろしくお祈りします。



キャリアコラム(vol.1)～タバコのマナー～

先日、知り合いから聞いた話ですが、タバコのマナーが原因で内定を貰えなかった学生がいたそうです。

その学生が選考に通らなかったことを不審に思った就職担当者が不合格理由を人事担当者に聞いたところ、会社に向かう学生がタバコを吸いながら歩いていたところを面接担当者が偶然目撃していて、「公共道徳を守れない人間はこの会社にはいらない」となったそうです。

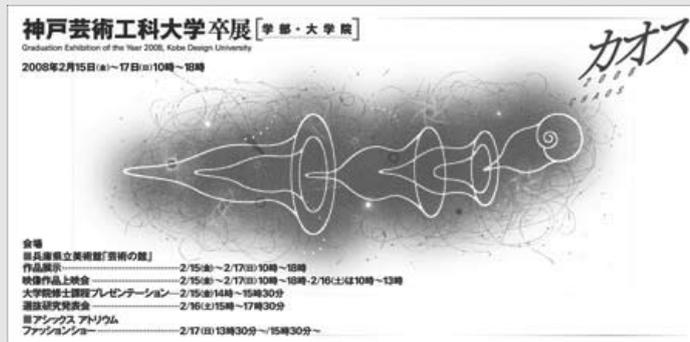
タバコを吸いながら歩くことは、人の迷惑を考えない最低の行為です。

その学生が普段から公共道徳を守ることを心掛けていればこのような事態にはならなかったでしょう。タバコに限らず、普段からマナーを守ることを心掛けましょう。誰のためでもない自分自身のために……。



カオス2008

神戸芸術工科大学 卒展 [学部・大学院]



今年の会場は兵庫県立美術館とファッションショーをポートアイランドのアシックスアトリウムで開催。グラフィック、映像、立体造形、平面造形、CG、衣服、布、機器、インテリア、生活用具、建築、修景などの作品群と、それらのデザインの基礎となる研究論文を展示します。多岐多様な勉学の成果をぜひご覧下さい。

なお、卒展関連行事として、「企業と大学との情報交換会」(15日/県立美術館・ポートピアホテル)や、本学同窓会の「KDU-Net」が主催する卒業生交流会(17日/県立美術館)が行われます。

卒業生交流会は神戸会場に加え、今年は2月24日(日)に東京(恵比寿)においても開催されます。

日時：2008年2月15日(金)～17日(日) 10時～18時

○作品展示・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15日(金)～17日(日) 10時～18時

○映像作品上映会・・・・・・・・・・・・・・・・ 15日(金)～17日(日) 10時～18時

16日(土)は10時～13時

○大学院修士課程プレゼンテーション・・・・・・ 15日(金) 14時～15時30分

○選抜研究発表会・・・・・・・・・・・・・・・・ 16日(土) 15時～17時30分

○ファッションショー・・・・・・・・・・・・・・ 17日(日) 13時30分～/15時30分～

※2月17日(日)には、「兵庫県立美術館」と「アシックスアトリウム」との間を結ぶシャトルバスを運行します。駐車場がありませんので、車でのご来場はご遠慮ください。



■教職指導室がオープンしました

教員免許の取得を目指している学生のみなさんに、教職の採用試験など支援を行うため教職指導室を設けました。場所は先端芸術学部棟(8号棟)1階の8111室です。

ここでは、教職関連の資料を閲覧することができるほか、教職アドバイザーが、毎週金曜日の午前10時から午後6時まで在室していますので、教職課程の勉強をしている上での疑問、教員採用の情報などのアドバイスが受けられます。

利用を希望する人は、先端芸術学部の事務室で教職指導室を利用したい旨を伝えてください。

■後期末試験の注意事項

1. 学生証を忘れると試験が受けられません。もし、忘れた際には本館2階の教学課で、「仮学生証(受験許可証)」の発行の手続きを行ってください。
2. 試験期間中の筆記用具の貸借は不可。また携帯電話などの情報端末機器は必ず電源を切る。(携帯電話を時計として使用はできません)
3. 試験開始20分以上遅刻した場合は試験を受けられません。

追試験を希望する者は、「追試験許可願」と正当な理由を証明する書類を添付し、試験実施日から7日以内に教学課へ提出する。

■神戸芸術工科大学給付奨学金

2007年度から本学独自の新しい奨学金制度ができました。この奨学金は、本学在学学生で修学熱意、意欲があるにもかかわらず、主な学資負担者が死亡又は、病気・事故による長期入院等により家計が急変し、経済的に修学が著しく困難な者に授業料の一部として奨学金を給付し、学業継続の支援を行い、世に役立つ人物を育成することを目的としています。奨学金は、一人に対し、年間授業料の1/2相当額を上限として給付するもので、採用決定日以後、在学中最大4回まで、各学費納入に合わせて行います。

この奨学金については、年間を通じて申請を受付を行っています。詳しいことは本館2階・教学課まで相談に来てください。

KDU-Net (同窓会) から

KDU-Netでは本年度の活動の柱のひとつとして、卒業生相互の交流、人脈づくりの場として、卒業生交流会を開催します。今回は神戸に加え、東京でも会場を設けますので、卒業生のみなさんの参加をお待ちしています。卒業生には案内状を発送していますが、未着の方やご存知ない方がありましたら、KDU-Net事務局(教学課078-794-5025)へお知らせください。あらためて案内状をお送りします。

卒業生交流会

神戸:2月17日(日) 14:00～ 兵庫県立美術館内レストラン(卒展会場)

東京:2月24日(日) 13:30～ ゼストキャンティンナ恵比寿

神戸会場は、卒展最終日でもありますので、後輩たちの4年間の成果をみてやってください。

KDU-Net会長 馬場勝巳